

社会福祉援助入門講座

～福祉の職場で働きはじめた方・働きつづけていたい方のために～

《主催》京都市洛西ふれあいの里保養研修センター 《協賛》京都市社会福祉施設連絡協議会

【プログラムのねらい】

- ☆社会福祉の仕事の基本を理解し、やりがいをもって働き続けるための基礎を学びます！
- ☆日々の援助や自身のこれまでを振り返る機会とします！

【プログラムの特徴】

- ☆社会福祉の様々な分野・職種の方々と交流を図る機会にもなります！

【日程】 B日程 平成23年10月11日(火)・10月15日(土) 9:30～16:30

* 本年5・6月に開催したA日程と同じ内容です。

【会場】 10/11 洛西ふれあいの里保養研修センター(ふれあい会館) 研修室1 (1階)

10/15 ひと・まち交流館 京都 第4会議室 (3階)

* 1日目・2日目の会場が異なります。

* 1日目(10/11)は阪急桂駅付近より送迎バスを配車いたします(9:00発)。

* 会場及び送迎バス発着場は、別紙案内図または各会場ホームページで必ず事前にご確認ください(京都ふれあい会館 検索、ひとまち 検索)。

【内容】 講義・演習

(昼食・休憩) 12:30～13:30 (予定)

10/11	<p>社会福祉援助の基本と福祉職員の心構え</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 社会福祉って何ですか？ 2 近年の社会福祉の動向について 3 専門職って何ですか？ 4 あなたは、この仕事に就くことで何をしようとしているのですか？ 5 イギリスの職員研修より～利用者の立場になることの重要性～ 6 バーンアウトに気をつけて <p>講師 花園大学社会福祉学部 教授 福富 昌城 氏</p>
10/15	<p>対人援助の基本姿勢～利用者や家族に「かかわり続ける」ために～</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 価値があつてはじめて成立する「相談援助活動」・・・「価値」ということ 2 「価値」の実践を可能にするために 3 日常生活を支援するということ 4 生活支援のためのコミュニケーション・面接の技法 5 援助者としての自分に働きかけること(「自己覚知」の意味) 6 利用者を「理解する」ということ 7 利用者「かかわり続ける」ということ・・・かかわり続ける意味とは？ <p>講師 同志社大学社会学部 教授 空閑 浩人 氏</p>

【対象・定員】京都市内社会福祉施設・団体の新任職員(職務経験が概ね2年未満の方) **40名** (先着順)

* 新任職員以外の方でも、研修の趣旨をご理解いただき、内容に関心のある方は受講可能です。

【申し込み】下記の受講申込書をFAXでお送りください。締め切り：9月27日(火)

- *折り返し「仮受講決定通知書」をFAXまたはE-Mailにてお送りします。
- 申し込みから1週間以内に「仮受講決定通知書」が届かない場合はご連絡ください。
- *定員に空きがある場合は締め切り後も募集しています。お問い合わせください。

<申込み・問合せ先> 洛西ふれあいの里保養研修センター(ふれあい会館) (事業部 社会福祉研修担当)
 TEL 075-333-4653 / FAX 075-333-4664 / E-Mail: kenshu@kcsw.jp
 *「京・福祉の研修情報ネット」ホームページ (みやこけんしゅう 検索) からもお申し込みができます。研修情報メールマガジンもご登録ください!

【受講料】 8,000円 (2日間)

「仮受講決定通知書」に記載の振込先にお振り込みください。締め切り：9月28日(水)

【昼食】各自で予めご用意ください。

研修を受講して (平成23年度A日程受講者アンケートより)

- ・利用者さんの立場になって物事を考える、自分を利用者さんの立場におきかえて考えることができた。
- ・まず運営理念を再確認し、その理念にしっかり基づいた働きができているのか考えないといけないと感じました。
- ・同じ職種で働いておられる方々と思うことを共感し合えて、悩みや思いは自分だけのものではないのだと思えました。
- ・傾聴・共感の意味をわかって実践していたつもりだったが、「気づき・発見の専門職」になり、「かわり続ける」「寄り添い続ける」援助者になることを心掛けようと思った。

社会福祉援助入門講座 (B日程) 受講申込書

*正確にご記入ください

受講者氏名	ふりがな	職種	資格	福祉職員 経験年数	現所属 経験年数
	年齢 () 歳代			年 ヶ月	年 ヶ月
送迎バス (10/11 のみ) を、 利用する ・ 利用しない (必ずいずれかに○)					
事前アンケート(必ずお答えください!!) 今回の研修に関して、あなたが現在課題だと感じていること、または研修で深く学びたいことは何ですか？ 前頁の【内容】欄をご覧ください、 <u>具体的</u> にご記入ください。					
法人名		施設名			
TEL		FAX			
経理 ご担当者名		(経験年数・年齢等は参考におききするものですので、 おおよそで結構です)			

- * 上記のことは、本センターの資料及び研修の参考にするためにお聞きするものです。
- * ご記入いただいた事項は、本センターの事業以外に使用することはありません。

送付先： 333—4664 (ふれあい会館 FAX)